

総延長約4.3km

⑥ 水本ミニ牧場



かわいいポニー、乗用馬がお出迎えしてくれる水本ミニ牧場は、緑豊かな草原に囲まれ、山桜、杉の木立を背に開かれた800㎡ほどの馬場です。静かな澄みきった空気の中で馬たちとふれ合えば、心身共に癒される絶好の憩いの場所です。

水本ミニ牧場付近からの眺望



⑥水本ミニ牧場から⑦大年神社にかけて、緩やかな下り坂が約0.8km続きます。道中では、田園風景やビニールハウス、吉山川支流の上垣内川などを見ることができます。日常の雑踏から離れた、一面に広がる自然の景色の中で、のんびりと散策が楽しめる道です。

⑦ 大年神社 (おおとしじんじや)



吉山村の氏神でしたが、中ノ森八幡神社勧請後は、その摂社となりました。宝永元年(1704年)、白井山が大洪水で崩れた際、神社は御神体共々流されてしまいました。御神体が下流の久地村に漂着したのを奉じて帰り、社殿を再建したと伝えられています。

○ 吉山バス停

● 吉山地区のほ場整備事業について ●

平成5年に戸山地区が農業振興地域に指定されたことをきっかけとして、町内会や集落ごとに先進地の視察や懇談会等が幾度となく行われ、ほ場整備の機運が盛り上がり、事業が具体化していきました。

平成8年12月、吉山地区で最初のほ場整備工事が、影浦集落で開始され、平成10年3月には、189筆あった棚田が40筆の田に生まれ変わりました。

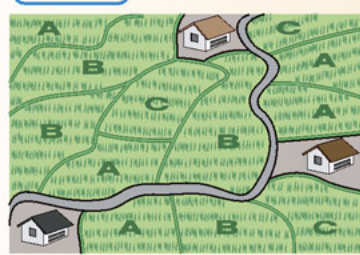
これにより、農道や用排水路が整備され、大型農機具の使用が可能となり、効率的に農作業ができるようになりました。

その後も吉山地区では、次々とほ場整備が進められています。

ほ場整備事業とは？

ほ場整備事業は、農地の区画を整理することによって農作業をしやすくし、農地をまとめることによって効率的に営農ができるようにするとともに、周辺の用排水路や農道等も一体的に整備することによって、農村地域の生活環境を改善することを目的として行われます。

整備前



整備後



担い手育成事業記念碑



『もうひとつの憩いの空間ルート』の地図上にある法隆寺から湯来町方面に約0.7km進んだところに、「担い手育成事業記念碑」があります。ほ場整備事業により、高齢化の進む地区にとって農家を継承していく基盤ができました。この記念碑は、戸山地区で最初のほ場整備が行われたことを記念して建てられたものです。



安佐南区
まちめぐり憩いの空間ルート研究会

yoshiyama

大利蔵山と田園

まちめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント(空間)や、これらをつなぐルートづくりを区民の皆さんと一緒にやっていくとともに、このルートを区民の皆さんの様々な活動に利用していただくとする「まちめぐり憩いの空間づくり事業」を進めています。

このマップは、平成20年度に開催された「まちめぐり憩いの空間ルート研究会」において、対象地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。

ルート構想は合計18本あり、平成20年度に実施した阿戸、吉山ルートを合わせた18ルート全てがまとめられています。



■公共交通機関をご利用になる場合は、第一タクシーの路線バス「くすのき台・戸山線」をご利用ください。アストラムライン大原駅から1時間に1往復程度の頻度で運行されています。※運行時刻、所要時間、経由地などは、運行会社にご確認ください。

あさみなみ策マップ ~吉山ルート~

発行：広島市安佐南区役所 区政振興課 TEL:082-831-4926
制作協力：まちめぐり憩いの空間ルート研究会・戸山公民館
発行年月：平成21年(2009年)3月

吉山ルートとその周辺について

● 吉山地区について ●

安佐南区の西に位置し、戸山地区の西半分を占める地域です。太田川の支流である吉山川の上流にあたり、周囲を標高600m~900m台の山々に囲まれた、山紫水明、自然豊かな景勝地です。中央を吉山川が流れ、川に沿って集落が発達しています。

長年、広島市の都心から遠く離れた地とされていました。現在では道路整備が進み、広島高速4号線(西風新都線)でトンネルを抜け、桜ヶ峠を越えれば、都心から30分圏内の地となりました。

また、農業の基盤整備(ほ場整備)が進行中であり、これを活かしたまちづくりを目指し、活気にあふれています。社寺・伝説・民話などが多く残されている詩情豊かな地域です。

● 吉山(村)の地名の起こり ●

吉山の地名は、文亀元年(1501年)に現在の吉山大原に道場を開き、禅宗浄国寺を創立した吉山佐正善太刀尉の姓の「吉山」に由来するといわれています。

明治22年(1889年)、当時の沼田郡阿戸村、吉山村の2つの村が合併し、戸山村が誕生し、昭和30年(1955年)には隣接する伴村と合併して町制をし、沼田町となりました。昭和46年(1971年)には広島市に編入され、昭和55年(1980年)の政令指定都市移行によって、現在の安佐南区の一部となっています。



空を映す水田(春)



トウモロコシ畑と田(夏)



黄葉(秋)



雪景色(冬)

正しい歩き方

せっかく歩くなら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか？

胸を張り、背筋を伸ばし、肩の力を抜いてリラックス
ウォーキングは・・・肥満・高血圧等の生活習慣病を予防・改善するだけでなく、脳の活性化により、認知症や老化の予防、筋力アップによる転倒予防にも効果的です！

元気じゃけんひろしま21
~安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています！~



あごを引き、目線はまっすぐやや遠くを見る
呼吸は自分のリズムで・・・
肘(ひじ)をやや曲げ腕を大きく振る
おなかを引き締める
膝(ひざ)を伸ばして大きく前へ
かかとから着地

この印刷物は再生紙を使用しています

○ 吉山バス停

約0.5km

① 辻堂屋敷跡 (つじどうやしきあと)



約0.9km

言い伝えによれば、建武の新政の頃、安芸国の国司を父に持つ恩賞方の長官であった藤原藤房は、論功行賞などの様々な問題をめぐり、後醍醐天皇に度々直訴しましたが聞き入れられず、新政府に絶望した藤房は、隠退してしまっただけで、辻堂家の伝承によれば、その隠れ地が沼田町吉山であるといわれています。約1,200㎡の畑が大きな石垣で囲まれ、今も昔の面影をとどめています。

② 三宅良範の碑 (みやけりょうはんのひ)



約0.5km

郷土出身の医師・三宅良範は、江戸末期、麻酔剤を開発した華岡青洲の弟・良平より医学を学んだとされ、広島で藩医をしていました。天保の大飢饉の際、吉山村で餓死、病死する村人を座視できず、私費を投じて食料や薬を与え、多くの村人を救済しましたが、治療にあたっては自らが病に倒れてしまいました。ひっそりとたずむ石碑には、当時の人々の深い感謝の気持ちが込められ、心から心へとその尊い生き方が今の子どもたちにも伝えられています。

③ 向井ものずきぼうろ



約0.4km

民芸品制作者の向井さんの工房には、米俵や水車小屋のミニチュアなど、身近にある材料で創意工夫してつくられた民芸品が所狭しと展示され、訪れる人を思わずにっこりさせてくれます。向井さんは農作業の余暇に、児童生徒の総合学習や地域のイベントに使われるみこしやしめ飾り等の制作にもあたっています。

④ 正善寺 (しょうぜんじ)



約0.2km

文亀元年(1501年)、吉山佐正善太刀尉が禅宗の道場として開き、これが寺名となったと伝えられています。そして、永禄5年(1562年)、浄土真宗に改宗しました。かつて、この境内には、芸藩通志に名勝として記載されるほどの見事な「苗代桜」の巨木が立っており、村人はその花の開くのを待って種蒔きを始めたそうです。また、入会地の管理に尽力した庄屋市兵衛の石碑も村を見下ろすこの場所に立っています。

⑤ 中ノ森八幡神社 (なかのもりはちまんじんじや)



約0.5km

社の起源には、弘治元年(1555年)に三宅飛弾守が創設したというもの、平治元年(1159年)に大中権助が甲斐の国より勧請したというものの2説が記録として残っています。緑深く、清閑な境内には、広島市の天然記念物に指定されている「アラカシ」の巨木があり、聖明神として祭られています。しかし、平成3年の台風で、惜しくも2本の幹が折れてしまいました。

主な参考文献

広島県史/沼田町史/広島県史社寺志/広島県神社誌/日本の歴史/文化財点推/戸山ものがたり(戸山ものがたりをつくる会・戸山公民館)/わが街再発見(広島市戸山地区民俗資料保存会)/戸山カルチャーマップ(戸山カルチャーマップ作成委員会・財)広島市ひと・まちネットワーク広島市戸山公民館/そのほか社寺の現地の解説文など

もうひとつの憩いの空間ルート

吉山地区の自然とともに歩んできた人々の生活。先人たちから受け継いできた自然の中に垣間見られる生活の知恵は、これからも次世代へと受け継がれていきます。

※注)それぞれのポイントは、JA広島市・Aコープから湯来町方面に約4km進んだ先にある法隆寺を目印として散策してください。

源流の清流

法隆寺から北へ約2km林道を登ったところに、「五段返し」の滝、「まきのおの滝」、「大谷川の渓谷の滝」、「石畳」があります。

水しぶきをあげて流れ落ちる清流が、花崗岩の岩石を削りながら滝となる姿は壮観な眺めで、この地域随一の渓谷美を誇っています。(「五段返し」の滝までは法隆寺から徒歩で約30分です。なお、滝の石は、滑りやすいので危険です!)

- 五段返しの滝 (大谷一号橋、大谷二号橋)
- まきのおの滝 (大谷橋)
- 石畳 (大谷川の渓谷の滝)

農業用水路

法隆寺から北へ約1.3km林道を登ったところに、約3kmにわたる「農業用水路」があります。この「農業用水路」は、大谷川から水を引いており、約300年前に築かれたといわれています。高所にある田んぼに水を引くことができるようになるなど、先人たちの知恵と努力のおかげで、水の少ない地区にとっては命の水といわれています。



法隆寺

地元僧侶と門徒が協力し、浄土真宗法隆仏教会として大正14年に創設した寺院です。昭和12年には本堂が建てられ、同18年に法隆寺と改称しました。

担い手育成事業記念碑 (「吉山地区のほ場整備事業について」に解説文があります。)

もうひとつの憩いの空間ルート 基本ルート

ほ場整備が進むと、道や水路等の位置が変わることがあります。

田の畦や畑、藪、草むらの中を歩くときには、マムシに注意しましょう!

注意してネ!

受け継いできた自然だから大切にしよう! ゴミなど捨てないでね!

川のをせうぎの音がかこちいね!

山ざわなどクマが出ることもあるので、注意しましょう!

注意してネ!

吉山ルートを迷わず歩くポイント! マップにある家屋や橋の位置を確認しよう!

記号の説明

- まちめぐりルート
- 0.3 区間の距離(単位:km)
- 車道(2009年1月時点)
- 車道(ほ場整備により、今後整備される道路)
- 徒歩道(山道など)
- 河川・水路

<注意場所など>

- 階段

<まちめぐり資源>

- 神社・寺院
- 碑、その他由来のあるもの
- 特徴ある風景
- 眺望場所
- 社叢・樹木
- 見学できる場所

<目標物・その他>

- バス停留所
- トイレ
- 目印となるポイント

※注) 資源名 で示したものは裏面に解説文があります。